

ロシア為替週報

2023年6月12日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>

(6月3日～6月9日)

USD/RUB: 80.6050～82.7775

先週1週間のロシア・ルーブルは続落。週末のOPEC+では協調減産の継続に加えてサウジアラビアが日量100万バレルの追加減産を発表したものの、原油価格の上昇は続かなかった。ロシア中央銀行(CBR)が声明文の中で次回会合での利上げの可能性により踏み込んだものの、ルーブル相場への影響は限定的であった。

今週最大のハイライトとなった、6月9日の金融政策発表では、市場予想通り政策金利が7.50%で据え置かれる一方、声明文では「今後の会合で主要金利の引き上げが必要となる可能性がある(we admit the possibility that we might need to raise the key rate already at the next meetings in order to limit inflation)」とされ、次回7月21日会合での利上げの可能性により踏み込んだ形での文言変更があった。前回4月会合までは「今後の政策決定会合で主要金利引き上げの必要性を検討する(we will continue to assess whether it is reasonable to raise the key rate in order to stabilise inflation)」という文言であった。CBRはこれまで示してきたものと同様のインフレリスク(労働需給の逼迫と賃金の押し上げ圧力や、インフレ期待の高まり)を挙げる一方、ロシアの内需は消費者活動と公共部門の双方に牽引されて、4月時点のCBRの見通しを上回るペースで拡大しているという見方を示した。同日に発表された5月分のCPIは前年同月比+2.5%と、前回の同+2.3%から加速している。内訳で目立つのは、サービス品目の価格寄与度の高まりであり(5月分は国内旅行の寄与度が大きかった)、今後労働需給の逼迫・賃金上昇を受けてCPIは一段と押し上げられる可能性が高い。

地政学的な話題では、6月9日にロシアの大統領府(クレムリン)がウクライナの反転攻勢が始まったと発表したことが目を引く。クレムリンの発表は侵入したウクライナ軍に大打撃を与えた、という文脈だが、戦況が大きく転換しつつあることを感じさせる。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
6/8	14:00	外貨準備高	6/2		\$585.0b	\$586.3b
6/9	11:30	政策金利発表		7.5%	7.5%	7.5%
	17:00	CPI(前年比)	5月	2.46%	2.51%	2.31%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(6月10日～6月16日)

USD/RUB: 79.00～85.00

中長期的なルーブル安方向への展開が続くという見方に変わりはない。(1)経常収支や財政収支など通貨ファンダメンタルズの悪化が鮮明となっていることが最大の理由である。G7などが経済制裁として科しているロシア産原油の輸入価格の上限設定措置を考慮すれば、ロシア産原油が国際的な指標であるブレントと比較して割安な水準で取引されることは避けられず、原油収入のアップサイドも限定的となろう。(2)また、海外への資金流出も継続する公算が大きい。もちろん、海外の投資家や企業がロシア国内から資金を海外に持ち出すことは厳しく制限されている。むしろ注目を集めているのは、ロシアの個人や企業が友好国に自らの資産を移そうとする動きや、ロシアの輸出企業が稼いだ外貨を国内に還流させずに国外に滞留させる動きである(外貨売り/自国通貨買いのフロー減少につながる)。

アップサイドリスクとしては、ロシア中銀の追加利上げの可能性が挙げられるものの、金利収入を目的とする海外からの資金流入が見込めない以上、ルーブル安圧力を食い止めるには力不足であろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

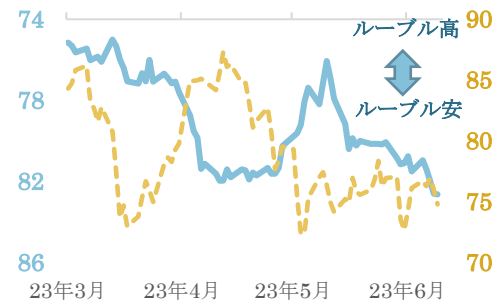
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
6/15	17:00	実質GDP(前年比)	Q1			-1.9%
6/16	14:00	外貨準備高	6/9		\$585.0b	

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

ロシア・ルーブルの推移

ルーブル対ドルレート(左軸、逆目盛)

ブレント先物価格(右軸)



原油価格の推移

実線:ウラル産原油価格

点線:ブレント先物価格(右軸)

(1バレルあたりドル)

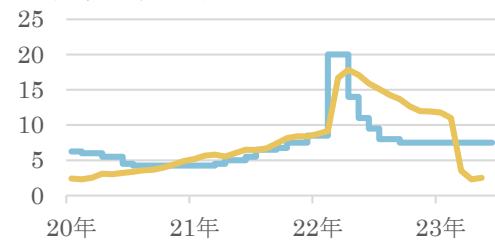


政策金利と消費者物価指数(CPI)

実線:政策金利

点線:CPI

(%、前年比%)



(資料: ロシア統計局/ロシア中央銀行/ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

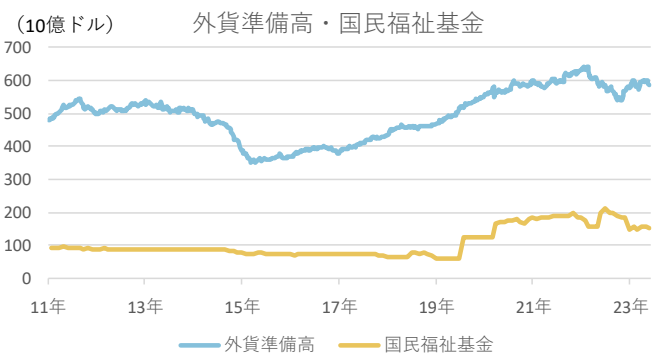
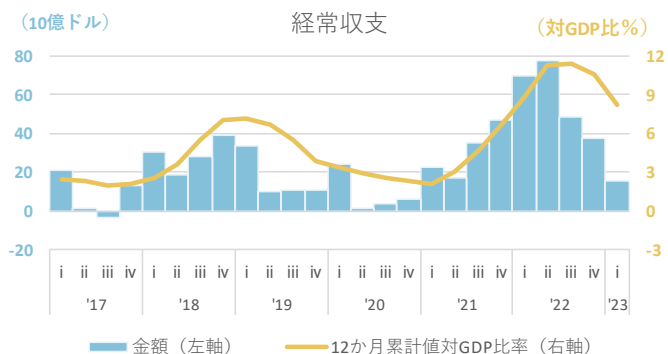
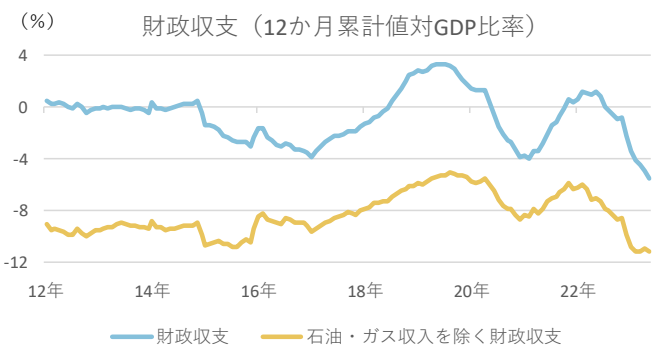
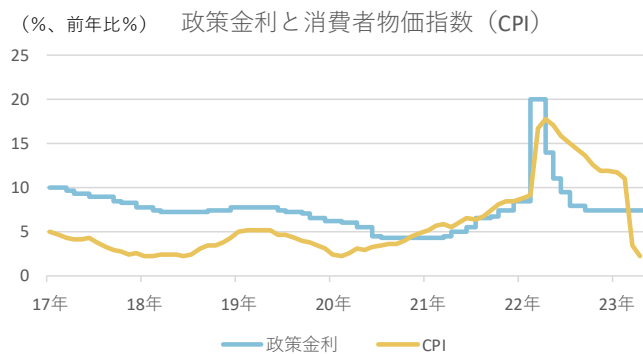
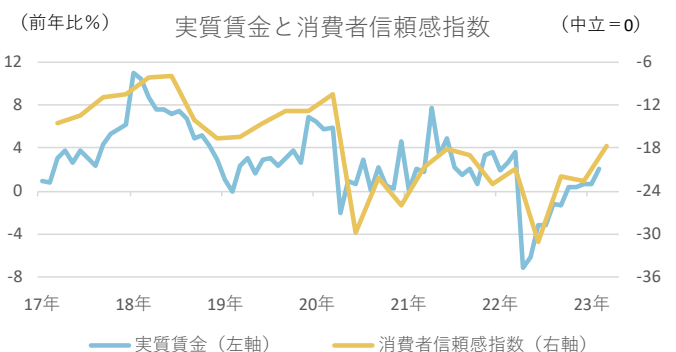
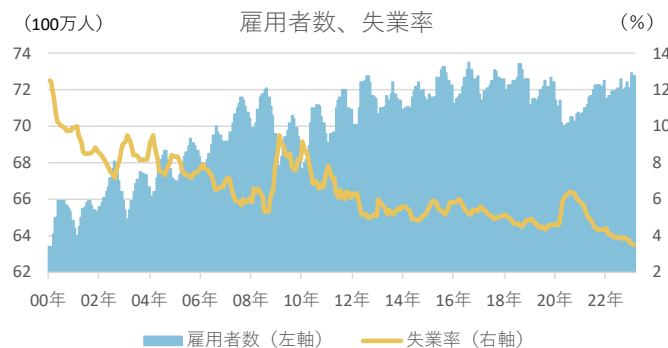
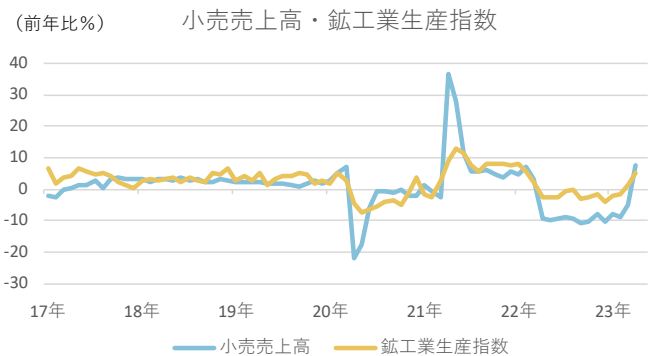
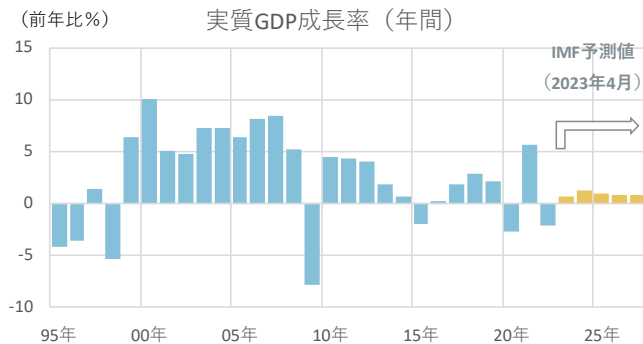
masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

ロシア為替週報

2023年6月12日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

<主要経済指標の推移>



(資料 ロシア中央銀行/ロシア統計局/ロシア財務省/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。